

<報道関係者各位>

2014 年 12 月 24 日

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会
日本セキュリティオペレーション事業者協議会

『脆弱性診断士(Web アプリケーション)スキルマップ』を公開 日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J)、OWASP Japan の 共同ワーキンググループ

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会(会長 田中英彦、以下 JNSA)の日本セキュリティオペレーション事業者協議会(以下、ISOG-J)のセキュリティオペレーションガイドラインワーキンググループと、OWASP Japan (リーダー 岡田良太郎、上野宣)主催の共同ワーキンググループである「脆弱性診断士(Web アプリケーション)スキルマッププロジェクト 2014 (代表 上野宣、以下 本WG)」で、脆弱性診断を行う個人の技術的な能力を具体的にすることを目的とした『脆弱性診断士(Web アプリケーション)スキルマップ』を作成し、本日公開しました。

近年、IT システムのさらなる普及に伴い、様々なシステムに対する攻撃に起因する情報漏えいや経済的損失などの被害が発生していることを受け、システムのリリース前に脆弱性の有無を調査する脆弱性診断を行い、問題点を修正するという脆弱性診断の一連の営みに関する重要性が高まっています。

脆弱性診断を行うためにはソフトウェアやネットワークなどの基本的な素養にはじまり、各種脆弱性診断ツールの使用手順や最新の技術動向へのキャッチアップなど、多岐に渡るスキルが必要とされます。

しかし、IT システムの中でも Web アプリケーションの脆弱性診断については、保有すべき具体的なスキルマップが関係者間で統一されていません。そのため、脆弱性診断を行う技術者やサービス事業者の技術力には差違が見られます。一方で、その差違は脆弱性診断サービスを利用する利用者には判りづらく、事業者も可視化することが難しい状況です。

本 WG では、脆弱性診断を行う個人の技術的な能力を具体的にすべく、脆弱性診断を行う技術者(以下、脆弱性診断士)のスキルマップを整備しています。まず、脆弱性診断の中でも早急な整備が必要な領域は Web アプリケーションであるとして、「脆弱性診断士(Web アプリケーション)」についてのスキルマップを作成しました。

■「脆弱性診断士」について

脆弱性診断士は、高い倫理を持ち、適切な手法で IT システムの脆弱性診断を行える者であり、脆弱性診断士スキルマップで求める技術や知識を保有している者に対して与えられる呼称です。

脆弱性診断士は、脆弱性診断業務に従事する者が全員知っておくべき技能(Silver ランク)と、単独で診断業務を行うために必要な技能(Gold ランク)を定義した2つのランクに分けました。

脆弱性診断士の業務に係わる各分野で使用できるようにスキルマップを明確にしました。

以下のような分野/用途を想定していますがこれに限定するものではありません。

- ・人事関連分野の用途

採用基準、能力判定、人事評価基準、セキュリティエンジニアの人材育成

・開発関連分野の用途

リリース前の要件、システムの品質向上

・発注関連分野の用途

入札仕様、診断サービス依頼先の選定

これらを通じて、脆弱性診断士の地位向上、待遇改善、給与向上につながることを目指しています。また、脆弱性診断士が魅力ある職業として認知されることにより、セキュリティ事業を志す優秀な人材が増えることを期待しており、就職活動、教育活動を行なう上で基礎を規定する役割の一端を担うことも目指しています。

■公開先

セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J) ホームページ

<http://isog-j.org/activities/result.html>

～NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA) について～

NPO 日本ネットワークセキュリティ協会は、ネットワーク・セキュリティ製品を提供しているベンダー、システムインテグレータ、インターネットプロバイダーなどネットワークセキュリティシステムに携わるベンダーが結集し、ネットワーク社会の情報セキュリティレベルの維持・向上及び日本における情報セキュリティ意識の啓発に努めるとともに、最新の情報セキュリティ技術および情報セキュリティへの脅威に関する情報提供などを行うことで、情報化社会へ貢献することを目的としております。

<http://www.jnsa.org/>

～セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J) について～

日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (Information Security Operation providers Group Japan 略称: ISOG-J) は、セキュリティオペレーション技術向上、オペレータ人材育成、および関係する組織・団体間の連携を推進することによって、セキュリティオペレーションサービスの普及とサービスレベルの向上を促し、安全で安心して利用できる IT 環境実現に寄与することを目的として設立されました。

<http://isog-j.org/>

～OWASP Japan について～

OWASP - Open Web Application Security Project とは、Web をはじめとするソフトウェアのセキュリティ環境の現状、またセキュアなソフトウェア開発を促進する技術・プロセスに関する情報共有と普及啓発を目的としたプロフェッショナルの集まる、オープンソース・ソフトウェアコミュニティです。OWASP Japan は、その日本チャプターであり、数々のプロジェクトへの参画による貢献、日本語への翻訳、またプロジェクト設立も行なっています。

<https://www.owasp.org/index.php/Japan>

本リリースに関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 / ISOG-J 事務局

E-Mail: info@isog-j.org TEL: 03-3519-6440

以上